

統計審議会会長 溝口 敏行 殿

総務庁長官 太田 誠一

諮問第259号

平成11年に実施される全国消費実態調査の計画について

標記について、貴会の御審議を得たい。

理 由

総務庁は、平成11年に実施を予定している全国消費実態調査（指定統計第97号を作成するための調査）について、世帯の家計収支の把握に併せて、世帯構成員の個人的な収入及び支出をよりの確に把握するため、平成6年調査の「こづかい帳」に代えて、「個人収支簿」による調査を計画している。

また、近年、急激に増加している単身世帯に関する結果精度の向上を図るため標本設計の見直しを行うとともに、報告者負担の軽減を図る観点から、調査事項の簡素化等を行うこととしている。

本調査の重要性にかんがみ、今回の調査計画については、諮問第242号の答申「統計行政の新中・長期構想」等を踏まえ、慎重に検討する必要がある。